

発行：日立製作所労働組合 政治部
 〒136-0071 東京都江東区亀戸9-3-13
 編集：日立グループ議員団会議
2003年9月 No. 34

日立グループ 議員団だより

日立グループ議員団活動方針（議員団の心得5原則）

1. 日立グループ労組出身議員であることの自覚を常に堅持すること。
2. 政治活動は、日立グループ連合、日立労組の運動方針を基本とすること。
3. 電機連合をはじめ、支援組織との連携強化に努力すること。
4. 地域活動は住民の心を的確に掴み活発に展開すること。
5. 常に研鑽に励み、清潔な姿勢を貫き、住民の信頼を高めるようにつとめること。

本当に国民のための政治に転換するために **全力で国政選挙の勝利を**



今の我が国は大変な危機的状況にあります。5・3%の低い失業率、一向に回復しない景況などによる雇用不安や、凶悪犯罪や若年層の犯罪増加等による社会不安、少子高齢化社会の到来に伴う年金・医療・福祉問題など、国民が将来に希望を持ち、安心して暮らせる社会にはほど遠い現実があります。

国民の間に閉塞感漂う日本においてこれを打ち破るためには、まず政治を国民の意識にあつたものに改革し、みんなが元氣の出る政策の実現を図らなければなりません。政治家は国民の意識と程遠い、利益誘導型政治を踏襲することしかできないでしょう。

今のような大変な政治・経済・社会の危機的時期において、政治家としてなすべきことは、国民が必要としていることを、中長期的視野を踏まえ、今後の世界の中の日本国としての戦略を持ちながら、国家の舵取りをすることです。

また今回は、国民の皆さんとの公約である「マニフェスト(政権公約)」を提示させて頂き、政策論議を基本とした政権選択を、国民の皆さんに明示し、総選挙において国民の皆さんのご審判を仰ぎたいと考えます。このマニフェストには、国民の立場に立った新しい「民主党」だからこそ可能となる多くの政策を国民の皆さんに訴えます。日本を変えるには、しからみのない新しい「民主党」基軸による政権交代しかありません。

いよいよ間近に迫った衆議院総選挙、来年度には参議院議員選挙が行われます。今度の2つの国政選挙は、まさに政権交代の絶好の機会です。同志である日立グループ議員団の皆さんをはじめ、関係各位のご指導ご支援を賜りながら、これからの日本を、本当に国民のための政治へと転換するため、また、まじめに働くものが報われる公正な社会、高齢者や子どもたちが安心して暮らす、学べる社会を実現するために全力で政治活動に取り組んで参ります。よろしくお願致します。

日立グループ議員団会長
衆議院議員
大島 章宏
(日立支部)

国政 たより

国民の意識にあつた政治への改革を

民主党・自由党の合併で掲げるマニフェストの実現を

政権交代の絶好の機会を全力で

今のような大変な政治・経済・社会の危機的時期において、政治家としてなすべきことは、国民が必要としていることを、中長期的視野を踏まえ、今後の世界の中の日本国としての戦略を持ちながら、国家の舵取りをすることです。

10月5日、民主党と自由党は合併大会を行い、新しく「民主党」を発足させます。

こまかな政策についてはまたまた、よく議論しなければならぬ点もありませんが、国民のための政治を実現するため、政権交代を行わなければならないという点で、まさに「小異を捨てて大同につく」覚悟で、新しい「民主党」議員一同、今後の政局に臨みます。

示し、総選挙において国民の皆さんのご審判を仰ぎたいと考えます。このマニフェストには、国民の立場に立った新しい「民主党」だからこそ可能となる多くの政策を国民の皆さんに訴えます。

日本を変えるには、しからみのない新しい「民主党」基軸による政権交代しかありません。

いよいよ間近に迫った衆議院総選挙、来年度には参議院議員選挙が行われます。今度の2つの国政選挙は、まさに政権交代の絶好の機会です。

幹事長の主張



日立グループ議員団幹事長
横浜市議会議員
松本 敏(ソフト支部)

地方自治

「まち」を思う様々な人々と徹底的に話し合うことが大切

地方分権とは、地方自治体が失敗する自由を獲得することだと言われます。従って、地方自治体は貴重な税金をムダには使わないために自ら政策力高め、地域の特性に合わせ産業構造を見直し、市町村合併にも努める必要があります。

「まち」の将来像を画くためにはいくつかの要因をしっかりと予測しなければなりません。例えば経済成長率と物価、人口の増減、生活基盤(上下水道の普及、土地利用等)、人々の望み・考え方など「まち」を何とかしなければと考える人が必ずあります。

地方自治体は、自治体職員との協同作業が大切です。地方自治体の職員は貴重な税金をムダには使わないために自ら政策力高め、地域の特性に合わせ産業構造を見直し、市町村合併にも努める必要があります。

「まち」の将来像を画くためにはいくつかの要因をしっかりと予測しなければなりません。例えば経済成長率と物価、人口の増減、生活基盤(上下水道の普及、土地利用等)、人々の望み・考え方など「まち」を何とかしなければと考える人が必ずあります。

地方自治体は、自治体職員との協同作業が大切です。地方自治体の職員は貴重な税金をムダには使わないために自ら政策力高め、地域の特性に合わせ産業構造を見直し、市町村合併にも努める必要があります。

「まち」の将来像を画くためにはいくつかの要因をしっかりと予測しなければなりません。例えば経済成長率と物価、人口の増減、生活基盤(上下水道の普及、土地利用等)、人々の望み・考え方など「まち」を何とかしなければと考える人が必ずあります。

地方自治体は、自治体職員との協同作業が大切です。地方自治体の職員は貴重な税金をムダには使わないために自ら政策力高め、地域の特性に合わせ産業構造を見直し、市町村合併にも努める必要があります。

当選御礼

- 市原市議会 (6月8日)
山本 義雄 (AEパワー労組千葉支部)
- 秦野市議会 (8月31日)
山口 金光 (神奈川支部)

これからの選挙

- ひたちなか市議会議員選挙 (10月26日)
高崎 修一 (日立支部勝田分会)
佐々木忠男 (水戸支部)
山中 輝夫 (東海支部)
西野宮照男 (佐和支部)
吉田 実 (LSI支部)
木村 時郎 (日立ハイテク労組)
牧野 米春 (日立工機労組)

第43回衆議院議員選挙

- 大島 章宏 (茨城5区)
- 平野 博文 (大阪11区)

第20回参議院議員選挙(2004年7月予定)

- 加藤としゆき (比例代表区)

引続き皆様のご支援をお願いします

県民生活を支援する 予算編成に一定評価

補正予算の審議中



茨城県議会 今一男
(国分支部)



現在、第3回定例議会における補正予算の審議中ですが、経済動向が向上かない中、雇用・景気対策を柱として予算編成することで対応しています。

有効求人倍率が15カ月連続で全国平均を下回り、特に高校生の求職状況は前年を大きく下回っており、高卒未就職者や中高年者等の再就職支援、中小企業の再生支援のための融資制度の創設などのほか、産業活性化の施策、生活に密着した道路や介護サービス施設等の追加実施など社会資本の整備に取り組んで

一方、巨額の予算を要する陸・海・空の交通体系を始めて既に計画されている施策が進行していますが、今必要なのは、この停滞している経済状態で、県民が元気で日常生活できるかが非常に大切であり、今回の補正予算は額は少ないものの一定の評価はできると考えます。

また、小児救急医療体制の充実などの予算を組み、さらに、交通渋滞地区の解消を図るため一般道路から有料道路への交通転換を促進するための社会実験を1カ月間行い、結果が良ければ料金の半額化を実現するための予算を組みました。

健康増進や若者が集う広場に

日立市では、産業や観光に海・山の自然環境を活かした、交流しあえるまちづくりに取り組んでいます。南北24kmの海岸線は、貴重な地域資源です。



日立市議会 石野正美
(日立支部)

河原子海岸北浜の整備計画

計画地の河原子海岸は、砂浜、松林、河川、崖地が織り成す白浜青松の景観を有する、広大な未利用地が存在します。また、古くから海水浴場として知名度が高く、宿泊施設も充実しています。さらに、南浜から水木海岸にかけて2.5kmのロングビーチを形成しているなど、諸条件が整っています。この海辺の活用を図り、市民の憩いの空間を整備し、交流人口の拡大で活性化を図ります。

- 計画の内容は
- ◎地元の宿泊施設と連携した、ターゲットバードゴルフ場を活用した大会、交流試合、研修会、合宿などの誘致
 - ◎ビーチバレー、サーフィン、トライアスロンなど海のスポーツイベントの開催
 - ◎既設の遊歩道と連携したヘルスロードの整備
- スケジュールは、今年度に基本設計を行い、17年度から整備を行います。

11万6千人が訪れ熱狂!!



ひたちなか市議会 綱川正
(佐和支部)



レイクステージでの熱狂(上)
特産物で地元をPR(下)

国内最大規模の野外コンサート「ロックインジャパンフェスティバル2003」が8月1日～3日まで、ひたちなか市の国営ひたち海浜公園で開催されました。

大草原の「グラスステージ」、水の広場の「レイクステージ」の2つの特設会場で同時に展開される演奏には、総勢45組のバンドが参加。東京スカパラダイスオーケストラやドラゴンアッシュ、平井堅、リップスライムなど日本のロック界を代表するアーティストを目標に、10代～20代中心の観客が全国各地から3日間で11万6千人が訪れました。

会場内では迫力ある生の演奏に合わせて熱気あふれる声援や、意気投合した若者達の交流など、真夏の音楽祭典を心ゆくまで満喫していました。

会場内の「たまごの森」には「ひたちなか市場 みなと屋」が設置され、特産の海産物や野菜など地元の食を観客に提供すると共に、会話を楽しむ交流の場を確保し、ひたちなか・茨城を広くアピールしました。

今後、市としても全面的に協力し「ひたちなか市」の知名度アップに努めます。

国内最大規模の野外コンサートを開催

沼津市立沼津高等学校が開校



中高一貫教育にあすへのゆめをみつげよう



沼津市議会 山崎篤
(A Eパワー沼津)

中高一貫教育の取組みに注目

「明るく21世紀を築くため、豊かな心と創造力に満ちた生徒を育成する」という教育方針のもと、自分の考えを持ち自立している人。他人の心を理解し支え合える人。自ら考え状況を打破していく創造力と行動力がある人。先行き不透明な21世紀だからこそ、そんな生徒を育てたいと考え、沼津市立沼津高等学校・中等部が平成15年4月にオープンしました。

高等学校の校訓は「求道(ぐどう)」、「困難に立ち向かう勇氣と行動力を持つたくましい個性的な姿」をめざす生徒像としています。中等部では、「あすへのゆめをみつげよう」を合言葉に、たくましい「あゆみ」を踏み出しました。

高校に在勤するALTとふれあう国際理解教育、一人に1台のパソコンという恵まれた施設による情報教育、従前にあった衛生看護科の基礎を活用した福祉教育、沼津を愛するシチズンシップの育成をめざして取り組む地域学習を4本柱としています。

高校では、県内初の民間人、田中校長の下、新しい校舎で「オープン」をモットーに一人ひとりの生徒の夢をサポートすべく新たな取組みがされています。



将来ビジョンが見えないままで 合併問題と市長選



下松市の周辺市町は合併に動いているのだが



下松市議会 内山吉治
(笠戸支部)

我が下松市では来年4月、市長選が行われます。争点は合併であり、既に出馬表明した新人は下松市を含めた4市3町(旧)の広域合併を公約として後援会活動を精力的に展開しています。現市長は正式に出馬表明していないものの、毎晩のように自治会集会所で4大プロジェクトの推進や3市2町(旧)の枠組みから脱退した経緯の説明をし、市民との対話を進めています。

市民は今回の脱退には一応の理解を示したものの将来の方向がはっきりと示されていない現状に不満

をもつ者も多く、「下松はどうなるのか、どうするのか」との不安の声も多く寄せられています。選挙のためとはいえ不可能なことを公約する方もする方ですが、慎重のあまりはっきりとビジョンを示さないのも問題であると私は考えています。現市長を推す我々としては市長選に勝たねばならないと考えています。合併(将来)をどうするのか、早く市民の前に示すように提言しているのですが……?

いずれにしても、来年4月には答えがでます。(脱退経緯は議員団だより2002年4月No.30参照)